

# 「四季の移ろい」写真コンテスト結果発表

第4回 ひろしま遊学の森「四季の移ろい」写真コンテストの審査が行なわれました。応募作品138点(56名)の中から特選1点・入選2点・佳作3点・緑化センター賞1点・森林公园賞1点の計8点が選ばれました。入賞作品及び応募された方の作品各1点を「ひろしま遊学の森 四季の移ろい写真コンテスト展」として12月19日(土)~1月24日(日)の間、広島県緑化センターのレストハウスで展示します。その後、入賞作品のみを2月1日(月)~2月28日(日)の間、広島市森林公园管理センターにて展示します。

## 特選 大野 義登さん

### 「赤いシャクナゲ」

少しあり空の下で咲きましたと言っているようでした。

«講評»

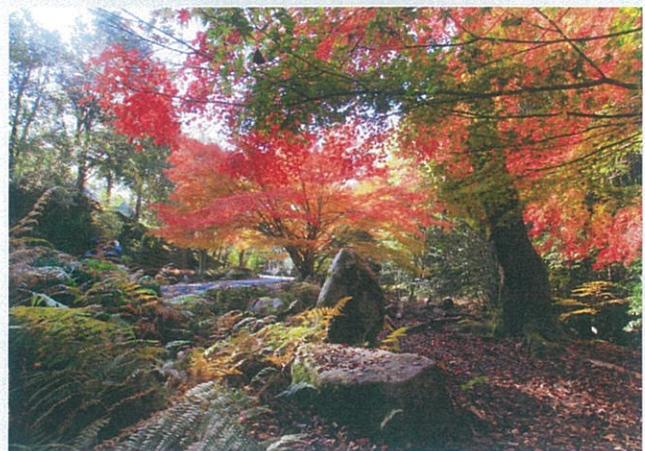
時期、天候、撮り方は申し分なし。今までにない写真。後方に霧がかかって全体的にしっとりとして綺麗。部屋に飾れば癒されると思う。



## 入選 仙谷 英暢さん

### 「きれいな紅葉」

友人3人で撮影に出かけました。本当にきれいでした。



«講評»

質感のある非常にきれいな写真。広角レンズで撮られているので、奥行きや色がしっかり出ている。手前のシダを入れているのが良い。

## 入選 倉見 千恵子さん

### 「午後のデート」

優しい日差しで、そばに寄ってきた鯉に「一緒に遊ぼうよ～」と声をかけている様に感じシャッターを押しました。



«講評»

アヒルの向き、鯉の形が良い。お互いが見合っている姿は一体感がある。鯉はこの作品のように尾を少しねじっている姿が良い。

## 佳作 「凍てつく朝」 白石 淑子さん

足元を見ると霜が降りた苔があり、先に赤い花?がかわいく、アングルを考えて撮りました。

«講評»

構図、バランス、黒色の背景が良い。赤色の子器や左下の水玉がポイントになっている。



## 佳作 「子育てがんばれ!!」 坂本 功さん

学習展示館前の坂道を下る途中、木の枝にモズの親子が留まっていたので、カメラを構えて待ち続けていました。親が飛び立って、餌を持ち帰った所を連写。上嘴がかぎ状に曲がっているせいか、尾を持ち上げ、頭を真横にして幼鳥が食べやすい様にしているのでしょうか。

«講評»

このようなモズの写真はこちらでは初めて見た。インクジェットでプリントしているが、もっと濃度を上げるとしっかり色が出て羽根も繊細に出てくる。



## 佳作 「コロナ渦の休日」 宮本 武さん

自粛生活の中、青空に向かって登る子供達。

«講評»

森林公园らしい休日のどかな写真。左下に父子が入っており、雰囲気を感じられる。遊具上部に子供入っているのも良い。



## 緑化センター賞 「初秋」

### 黒瀬 正一さん

朝方、園内は霧に覆われ先が見えない程だった。偶然に斜光に照らされ僅かな一瞬の出来事に出会った。

«講評»

風景写真の見本のような写真。雨が降った翌日の日が差し込んだ瞬間を捉えられ、非常にきれい。



## 森林公园賞 「審査員」 中村 しのぶさん

案山子を見ながら「うん、うん」と対話しているような見学者、まさに審査員のようでした。「どれもいいね～」

«講評»

かかし祭りの写真でとても面白い。白色がとんでいるので調整するともっと良くなる。それ以外はよく撮れている。



たくさんのご応募ありがとうございました！来年度の写真コンテストもよろしくお願ひします！

